DIAMOND Quarterly

2026年11月27日（金）締切

緊急企画

「セキュリティ」エグゼクティブ・セミナー協賛企画

参加対象：大手企業の執行役員・事業本部長クラス
申込者数： 50名（当日参加：40名想定）※リアル開催

協賛社募集！

大企業エグゼクティブ向けセミナー
2027年3月
上旬：第1回
中旬：第2回
都内開催想定

いま、何が起きているのか。
現場任せにせず、経営者自らが実態を知る

AI攻撃（アタック）から「顧客」と「事業」を守るには

日常化したAI攻撃リスクを前提にしたBCP（事業継続計画）で
企業経営の中核にある「顧客」と「事業」を守る

ダイヤモンド社 ブランディング事業局

「AI攻撃」のリスクは、日常となった。

2026年秋、情報漏洩と脆弱性をめぐるインシデントが立て続けに発生。もはや対岸の火事ではない。

1

顧客データの大量流出

会員基盤・アプリ・APIを狙った不正アクセスで、数千万件規模の顧客情報が流出。「顧客データを持つこと」自体がリスクに。

ソースネクスト、Eストアー、タイムズカー ほか

2

取引先が「侵入口」に

取引先PCのマルウェア感染、取引先サーバー経由で複数社に被害。自社の対策水準にかかわらず、「最も弱い一社」から被害が広がる。

第一興商、シチズン時計など5社 ほか

3

クラウド基盤への攻撃

クラウド基盤への攻撃で、495の企業・自治体のサービスが停止。一社のインシデントが、取引先の事業継続を直撃する。

IDCFクラウド（JR東日本「えきねっと」等に波及）

4

基盤ソフトの重大脆弱性

インターネットの約70%を支えるPHPに重大な脆弱性。10年以上見過ごされた欠陥をAIが発見し、各国政府がサイトを停止。

PHPセキュリティチーム（2026年10月21日公表）

では、AI攻撃から経営者は何を守るべきか

情報システム部門が現場で対応する話ではない。企業経営に直結する、トップマネジメントの問題である。

※出典：日本経済新聞、ITmedia エンタープライズ、Impress DIGITAL X、BBC News Japan、帝国データバンク、Gartner（いずれも2026年10月時点の公表情報）

経営者がAI攻撃（アタック）から守るべきもの――

それはすなわち、

事業継続計画
BCP

すべての侵入を防ぐことは、もはや不可能。
事故が起きる前提で、企業経営の中核にある「顧客」と「事業」を徹底的に守り、経営を止めない。
それが、AI時代の究極のBCPである。

災害リスク
東日本大震災を契機に策定が進んだ、これまでのBCPの前提

＋

AI攻撃リスク
災害と同等、あるいはそれ以上の頻度で顕在化する新たな前提

▶

「経営を止めない」BCP
両方のリスクを前提に、顧客と事業を守る全社的リスクマネジメント

BCPで、何を守るのか

顧客がいなくなれば、事業は終わる。事業が止まれば、経営は続かない。守るべきは、この2つ。



×



グループITガバナンス

顧客データを守る。
保持しない・残さない設計、認証・ログ監視、漏洩時の信頼回復まで。

＝ 自社基盤の強靭化

サプライチェーンマネジメント

サプライヤー（Tier1・2・3）を守る。
「最も弱い一社」から鎖が切れないよう、取引先とともに経営を止めない仕組みを築く。

＝ エコシステムの強靭化

この2つのテーマで、DQは大企業のエグゼクティブ向けに緊急セミナーを開催します。

DIAMOND Quarterly

緊急開催：DQエグゼクティブ・セミナー

「顧客」と「事業」、2つのテーマでそれぞれ1回ずつ開催。大手企業のエグゼクティブ（執行役員・事業部長クラス）を対象にクロストーク形式の対話型セッションで、経営者が何をなすべきかを腰を据えて議論します。

協賛企業 募集！

各回1社協賛 ／ 計2社（先着順）
※両回のご協賛も可能

顧客を守る

第1回

2027年3月上旬（予定）

顧客を守る
グループITガバナンス（仮）

参加対象：執行役員・事業本部長クラス

基調講演（弊社手配）+協賛講演（20分）+クロストーク（協賛企業も登壇）

事業を守る

第2回

2027年3月中旬（予定）

事業を守る
サプライチェーンマネジメント（仮）

参加対象：執行役員・事業本部長クラス

基調講演（弊社手配）+協賛講演（20分）+クロストーク（協賛企業も登壇）

基調講演（有識者）＋ 協賛講演 ＋ クロストーク ｜ 完全招待制　定員50名 ｜ 都内会場予定 ｜ リアル開催（オンライン配信なし）

※本企画はご協賛をもって成立いたします。セミナー採録記事のオンライン掲載はオプションとしてご用意します。

DIAMOND Quarterly

第1回：「顧客」を守る

開催：2027年3月上旬（予定）　DQエグゼクティブ・セミナー（クロストーク形式の対話型セッション）



顧客を守るグループITガバナンス（仮）

漏洩時にもいかに自社の顧客を守り抜くか。足下の脅威を確認し、致命的なインシデントを回避するために必要なことは何か。顧客を預かる企業の責任と戦略を、有識者と協賛企業、受講者の対話で深掘りします。

名　称	ダイヤモンドクォータリー エグゼクティブ・セミナー 第1回「顧客を守る」
テーマ	顧客を守るグループITガバナンス（仮）
主　催	ダイヤモンド社 ブランディング事業局
日　程	2027年3月上旬（予定）　※リアル開催限定（オンライン配信の予定はありません）
会　場	都内会場（東京會舘 ほか）※調整中
対　象	大手企業の執行役員・事業本部長クラス　参加者数：40名想定［完全招待制／要事前登録］　申込者数：50名程度を想定　参加費：無料
協　賛	1社協賛（協賛講演1枠・20分＋クロストーク登壇）
進　行	2026年11月 協賛決定・キックオフ → 登壇者ブッキング・招待メール発送 → 2027年3月上旬 開催

※状況により、プログラム構成または時間が前後する可能性があります。※本企画はご協賛をもって成立いたします。あらかじめご了承ください。

DIAMOND Quarterly

第2回：「事業」を守る

開催：2027年3月中旬（予定）　DQエグゼクティブ・セミナー（クロストーク形式の対話型セッション）



事業を守るサプライチェーンマネジメント（仮）

委託先のマルウェア感染、クラウド基盤へのランサムウェア、外部サービス経由の漏洩――インシデントの起点はサプライチェーンへ移っています。「最も弱い一社」から鎖が切れないよう、Tier1・2・3のサプライヤーとともに「事業を止めない」仕組みをどう築くかを議論します。

名　称	ダイヤモンドクォータリー エグゼクティブ・セミナー 第2回「事業を守る」
テーマ	事業を守るサプライチェーンマネジメント（仮）
主　催	ダイヤモンド社 ブランディング事業局
日　程	2027年3月中旬（予定）　※リアル開催限定（オンライン配信の予定はありません）
会　場	都内会場（東京會舘 ほか）※調整中
対　象	大手企業の執行役員・事業本部長クラス　参加者数：40名想定［完全招待制／要事前登録］　申込者数：50名程度を想定　参加費：無料
協　賛	1社協賛（協賛講演1枠・20分＋クロストーク登壇）
進　行	2026年11月 協賛決定・キックオフ → 登壇者ブッキング・招待メール発送 → 2027年3月中旬 開催

※状況により、プログラム構成または時間が前後する可能性があります。※本企画はご協賛をもって成立いたします。あらかじめご了承ください。

プログラム構成（案）

第1回、第2回共通／3時間（15:00開始・18:00終了）　※開始時刻は調整可

15:00 – 15:05	**主催者挨拶**（5分）	
15:05 – 15:35	**基調講演**（30分）	テーマに精通した有識者（DQ編集部がブッキング）
15:35 – 15:55	**協賛講演**（20分）	協賛企業1社限定
15:55 – 16:05	**コーヒーブレイク**（10分）	
16:05 – 17:00	**クロストーク／質疑応答**（55分）	基調講演者 × 協賛講演者 × 受講者　モデレーター：DQ副編集長 ※事前質問・当日「質問カード」を基に展開
17:00 – 18:00	**懇親会／ネットワーキング**（60分）	登壇者を交えた名刺交換・交流会／閉会挨拶

※状況により、プログラム構成または時間が前後する可能性があります。

オプション

セミナー採録記事のオンライン掲載

基調講演・クロストークの内容を採録記事として制作し、ダイヤモンドクォータリー（DQ）オンラインに掲載。

協賛企業のタイアップ記事と組み合わせた展開も可能です。セミナー当日の参加者（40名）を超えて、経営層・ビジネスパーソンに広くリーチします。

※掲載条件・費用は別途ご相談ください。

協賛概要（案）

◉ 申込締切　**2026年11月27日（金）**　※協賛講演枠が埋まり次第、終了となります。

◉ 協賛金額　各回　**8,500,000円**（税別）

◉ 協賛特典

- 協賛講演枠でのプレゼンテーション（20分間）
- 申込者リスト（登録者属性）の提供
- 実施報告書(当日のアンケート含む）の提供

◉ オプション

採録タイアップ記事の制作　**2,500,000円**（税別）
※「DQオンライン」への掲載、10,000PV保証付き
※貴社（協賛）パートの内容のみとなります。

◉ 請負内容

（１）企画／運営
- イベント企画・コンテンツ作成・進行管理、進行台本の作成
- 登壇者ブのッキング・講演内容プロデュース、接遇含む
- 当日の運営・進行（案内・誘導含む）

（２）招待／集客プロモーション
- 告知ページ、登録フォームの作成
- 告知物（招待状）の作成、リスト管理、発送
- 申込者への事前サポート

（３）イベントレポート
- 「DQオンライン」でのイベント全体レポートの作成・掲載

※個社レポートはオプションとなります。

メディア概要

編集長挨拶／編集方針

価値創造の両輪「コンテンツ＆コミュニティ」

「**21世紀にふさわしい日本的経営の再発明**」をパーパス（存在意義）に掲げ、大手企業のトップマネジメント層に読者を限定し、バイネームで直送するマネジメント誌。それが『ダイヤモンドクォータリー』（DQ）です。

平成から令和へと長きにわたる低迷の歴史を歩んできた日本ですが、しかしその間にも、聖域なき変革と独自の価値創造によって、直実な進化と成長を続けてきた企業があります。DQはそうしたエクセレントカンパニーにスポットを当て、物事の本質を突き、議論の起爆剤となる良質な「問い」を立てることで、新たな日本的経営につながる理論や実践知を発掘したい。そこで、先のパーパスに加えて、**「経営課題の解決に資するグッドクエスチョンを追求する」**というプリンシプル（行動原則）も打ち立て、すべての事業でその実践を進めています。

変化が常態化したいま、同じところに留まり続けていては数年後の存在すら危ぶまれる時代となっています。それはメディアも同様で、DQも進化の歩みを止めるわけにはいきません。雑誌やウェブと通じたコンテンツ発信のみならず、**「デジタルの時代だからこそ、“良質なリアル”が必要である」**という方針の下、**読者とのリアルネットワーキング**をこれまで以上に強化しております。この「**コンテンツ＆コミュニティ**」を価値創出の両輪と定め、業界や職域を超えた談論風発の場をプロデュースする唯一無二の知的プラットフォームへの超進化を目指す所存です。

ダイヤモンドクォータリー 編集長　**宮田和美**

パーパス（存在意義） PURPOSE

21世紀にふさわしい日本的経営の再発明

欧米流の擬態経営ではなく、この時代にふさわしい日本ならではのマネジメント「シン日本流経営」を創造する。
DQは、そのための理論や実践知を共有する知的プラットフォームを目指す。

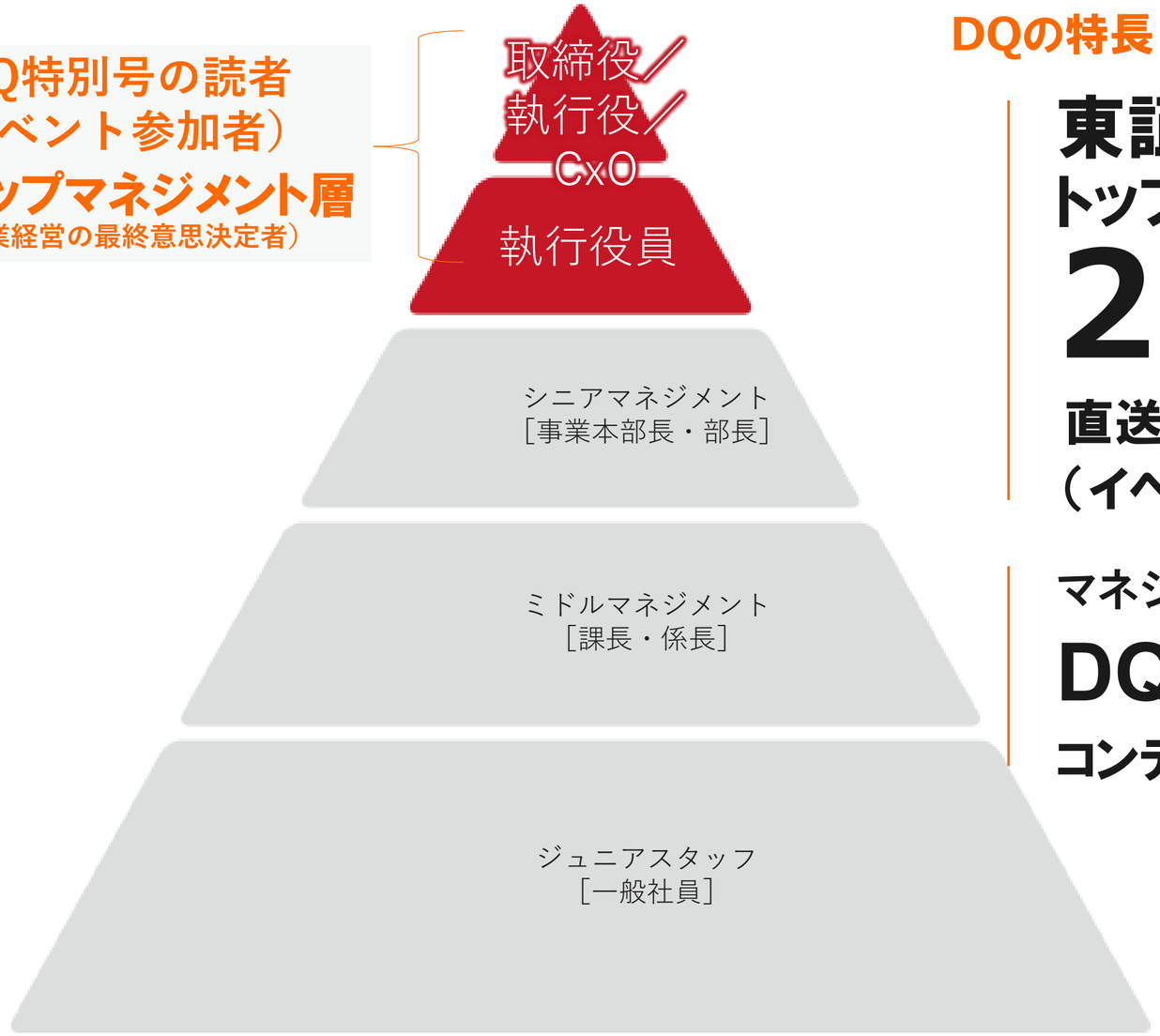
プリンシプル（行動原則） PRINCIPLE

経営課題の解決に資するグッドクエスチョンを追求する

正解なき時代だからこそ、物事の本質を突いた問いが議論の起爆剤となる。DQは、「問いにこわだる媒体」を標榜し、事業の中でそれを実践する。

ダイヤモンド クォータリー読者プロフィール（イベント参加者）

DQ特別号の読者
（イベント参加者）
＝ トップマネジメント層
（企業経営の最終意思決定者）



DQの特長

東証プライム上場企業の
トップマネジメント層
25,000 人への
直送によるダイレクトリーチ
（イベントへの招待をDMチラシにて実施）

マネジメントに精通した
DQ編集チームによる
コンテンツプロデュース

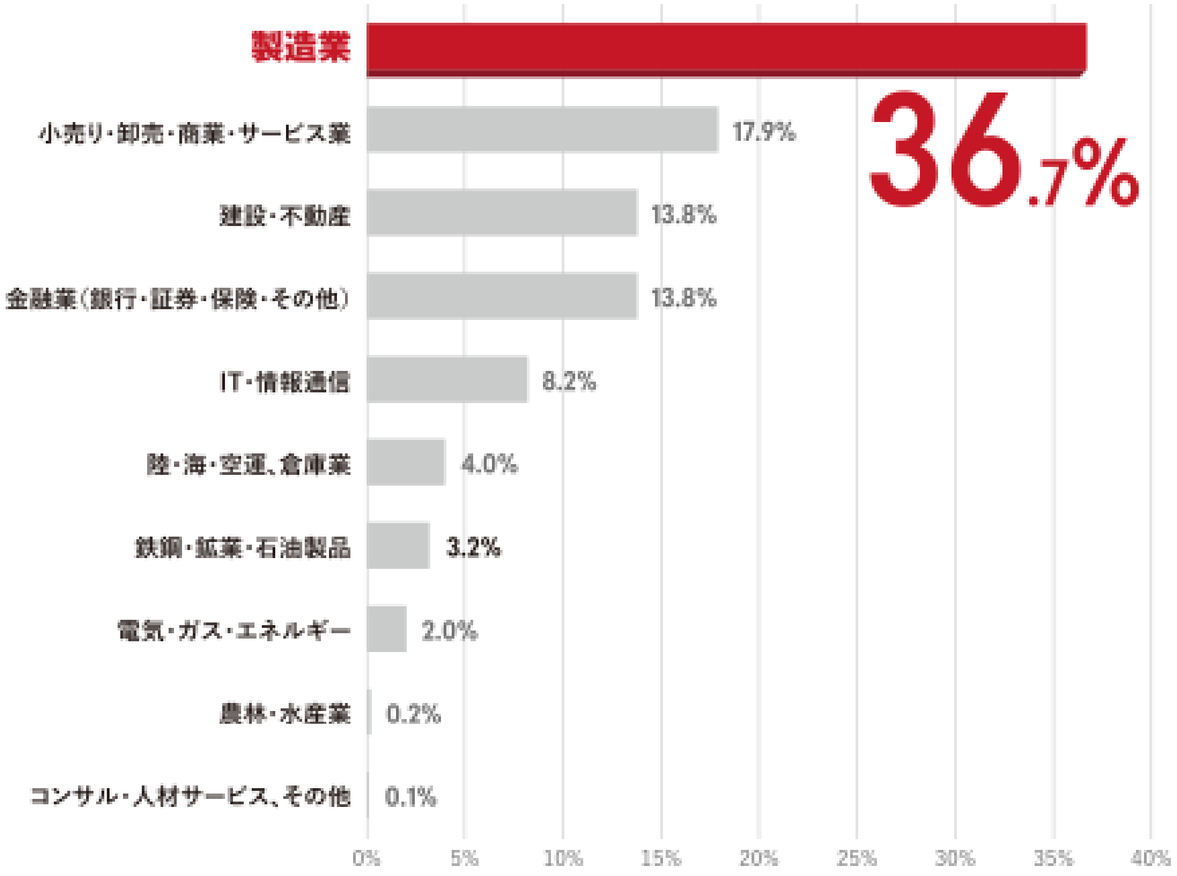


読者プロフィール

DIAMOND Quarterly

業種

n=21,014人

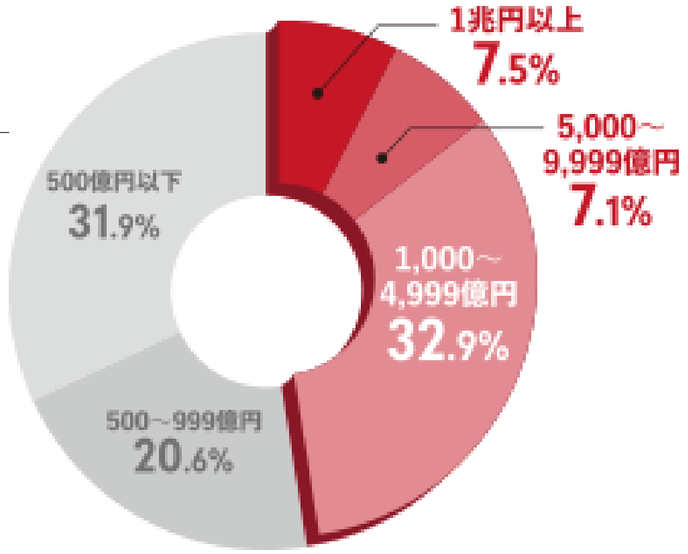


売上

n=2,361社 ※上場企業

売上1,000億円以上

47.5%

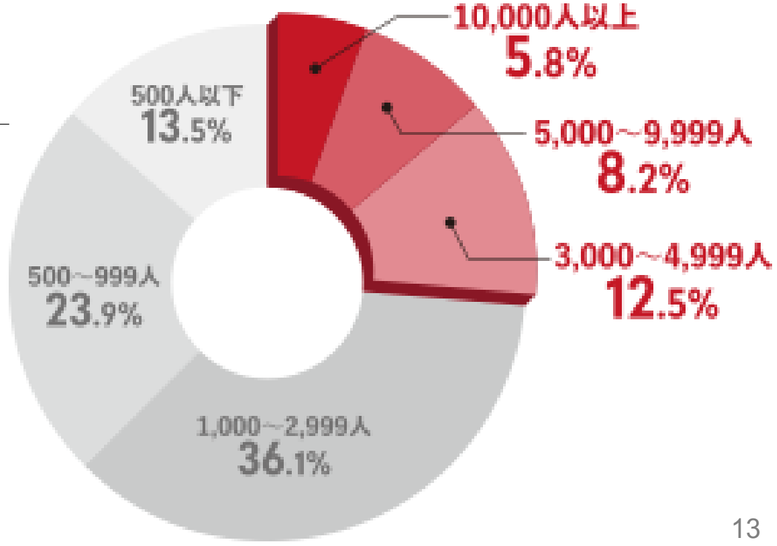


従業員規模

n=21,014人

従業員数3,000人以上

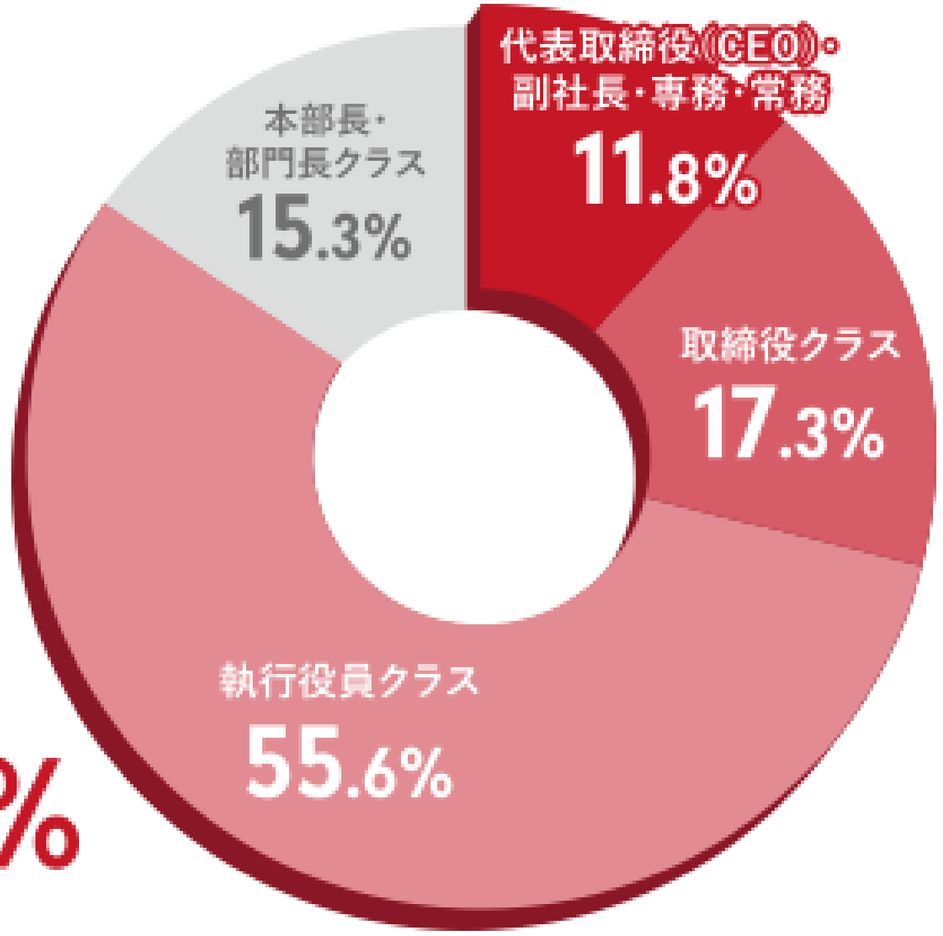
26.5%



読者プロフィール

役職

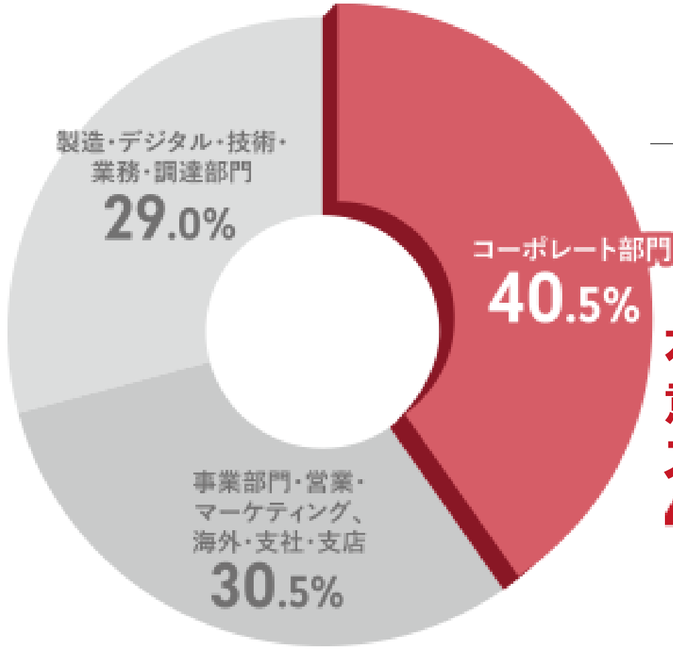
n=21,014人



執行役員クラス以上

84.7%

部門



本社機能の意思決定クラス

40.5%

開催事例

CASE 1

スポンサー　複数協賛（大手コンサルティングファーム他）

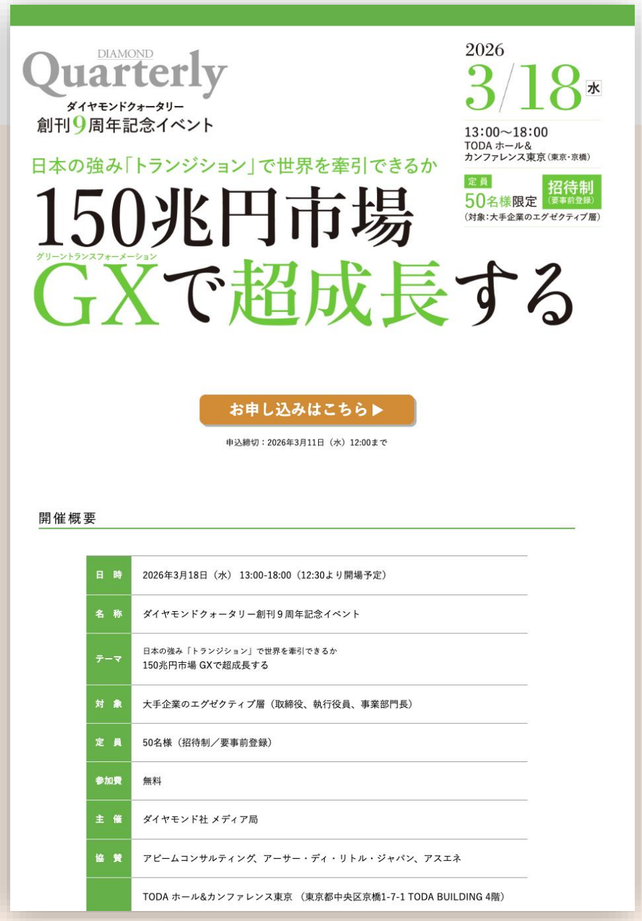
テーマ　GX（グリーントランスフォーメーション）

タイトル　150兆円市場
GXで超成長する

会場　TODA HALL & CONFERENCE TOKYO



写真はイメージです



告知サイト（LP）
https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum9/

写真はイメージです

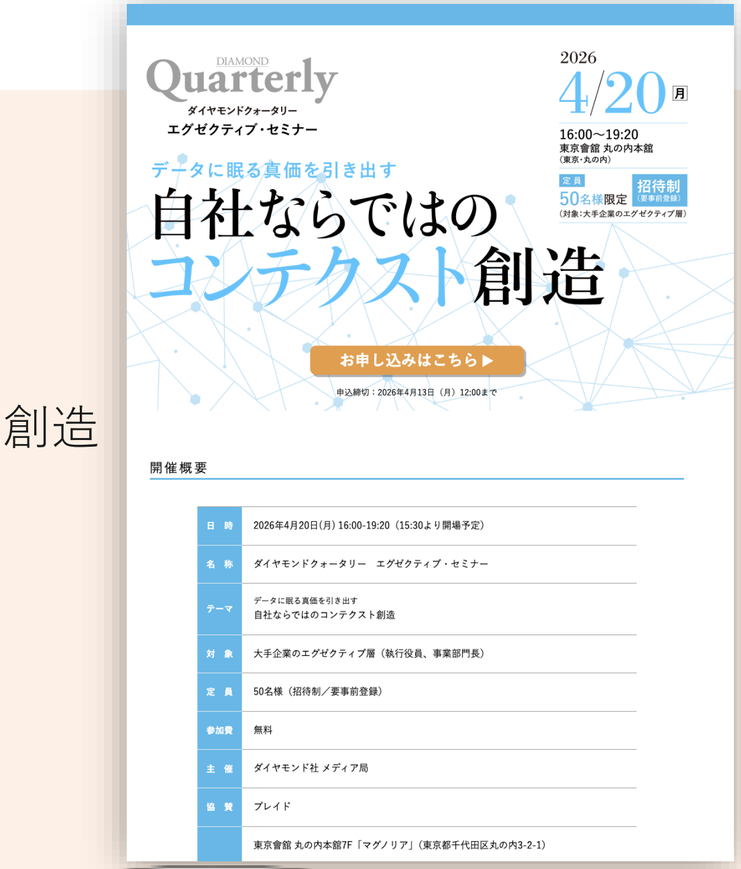
開催事例

CASE 2

スポンサー	大手SaaS企業（単独）
テーマ	AIデータ活用
タイトル	データに眠る真価を引き出す 自社ならではのコンテクスト創造
会場	東京會舘 丸の内本館



写真はイメージです



告知サイト（LP）
https://promo.diamond.jp/sp/dq-seminar260420/

写真はイメージです

開催実績　創刊9周年記念フォーラム　LP：https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum9/

ダイヤモンドクォータリー創刊９周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか　150兆円市場 GXで超成長する

概要・タイムテーブル

日時	2026年3月18日（水）13：00～18：00
名称	ダイヤモンドクォータリー創刊9周年記念イベント
テーマ	日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する
主催	ダイヤモンド社 メディア局
企画	ダイヤモンドクォータリー編集部
協賛	アビームコンサルティング、アーサー・ディ・リトル・ジャパン、 アスエネ
会場	TODA ホール&カンファレンス東京
定員	50名様 （招待制／要事前登録）申込者数：48名、参加者数：38名
参加費	無料
13:05-	◆基調講演 待ったなしのGX時代に向けて 大乱世を生き抜くビジネスモデルとは 産学連携推進機構 理事長 妹尾堅一郎 氏
14:05-	◆協賛講演① マテリアリティマネジメントが導く事業成長戦略 ― GXトランジション期に求められるKPIとナラティブ アビームコンサルティング サプライチェーン・サステナビリティ戦略ユニット　プリンシパル 豊嶋修平 氏
14:35-	◆協賛講演② 移行期のGXを企業価値に変換する「戦略コア」の設計と活かし方 アーサー・ディ・リトル・ジャパン エネルギー・ユーティリティ・プラクティス　プリンシパル 宇野暁紀 氏
15:05-	◇コーヒーブレイク (休憩)
15:20-	◆協賛講演③ 世界を牽引する「攻め」のGX成長戦略を実装するために ―SSBJ基準が迫る経営判断の合理化と、AI時代の「守り」の開示対応 アスエネヴェリタス　取締役CCO 小池心平 氏
15:50-	◆クロストークセッション 日本流GXの勝ち筋はどこにあるか 妹尾堅一郎 氏／豊嶋修平 氏／宇野暁紀 氏／小池心平 氏 宮田和美（モデレーター）
17:00-	◆懇親会／ネットワーキング

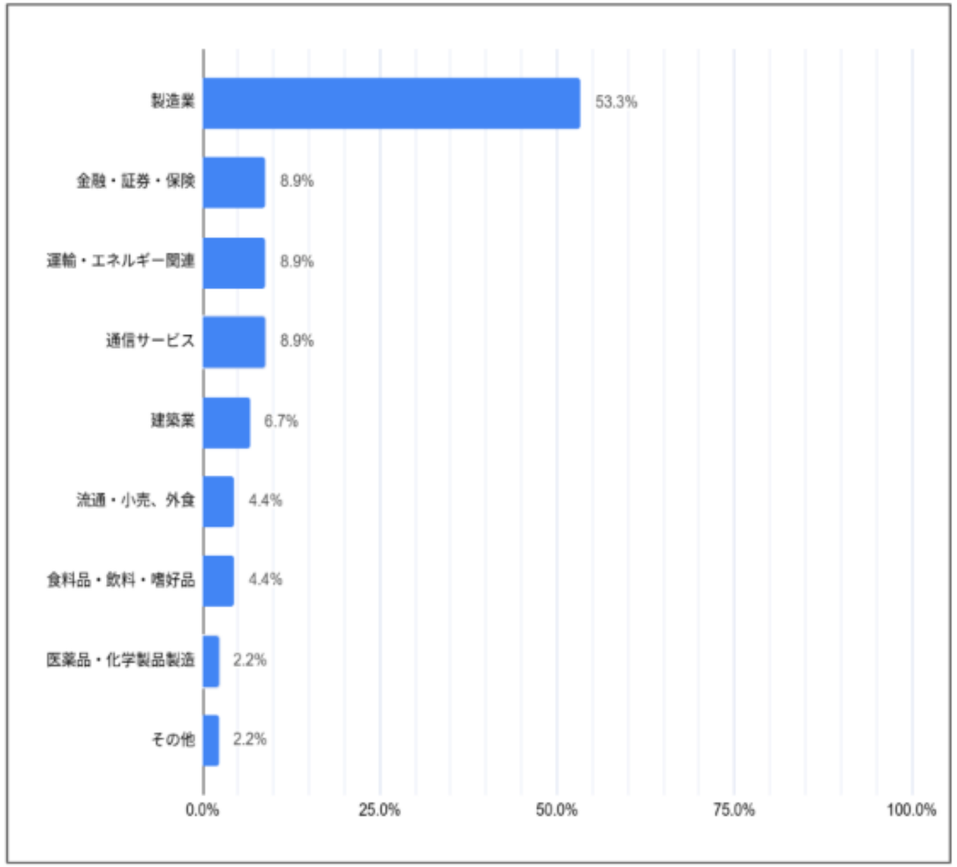


開催実績　創刊9周年記念フォーラム （登録者属性／リアル開催申込者）

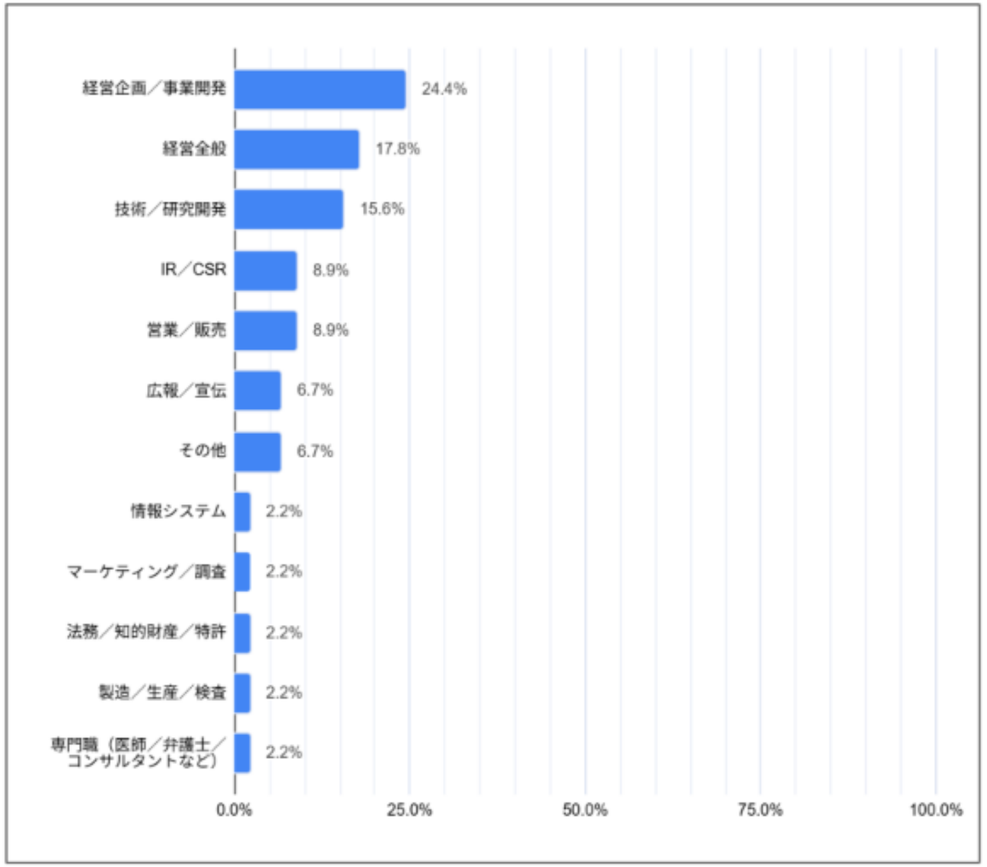
ダイヤモンドクォータリー創刊９周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか　150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【業種】



【職種】

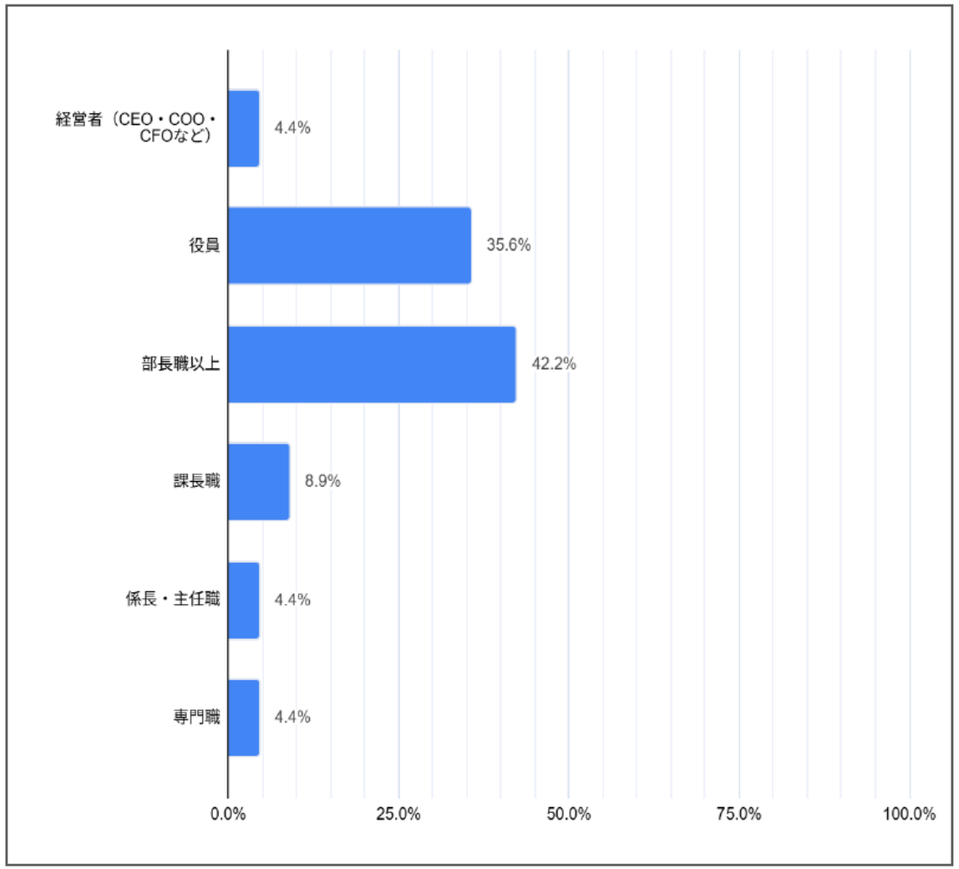


開催実績　創刊9周年記念フォーラム　（登録者属性／リアル開催申込者）

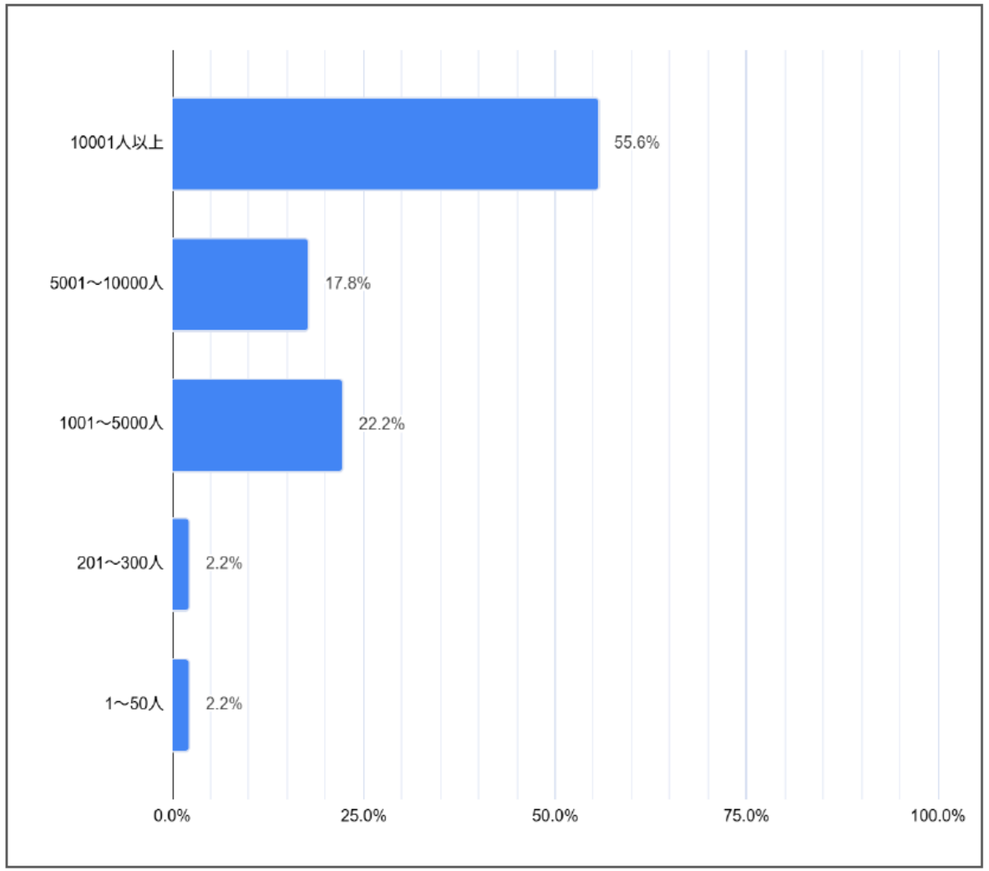
ダイヤモンドクォータリー創刊９周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか　150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【役職】



【従業員数】



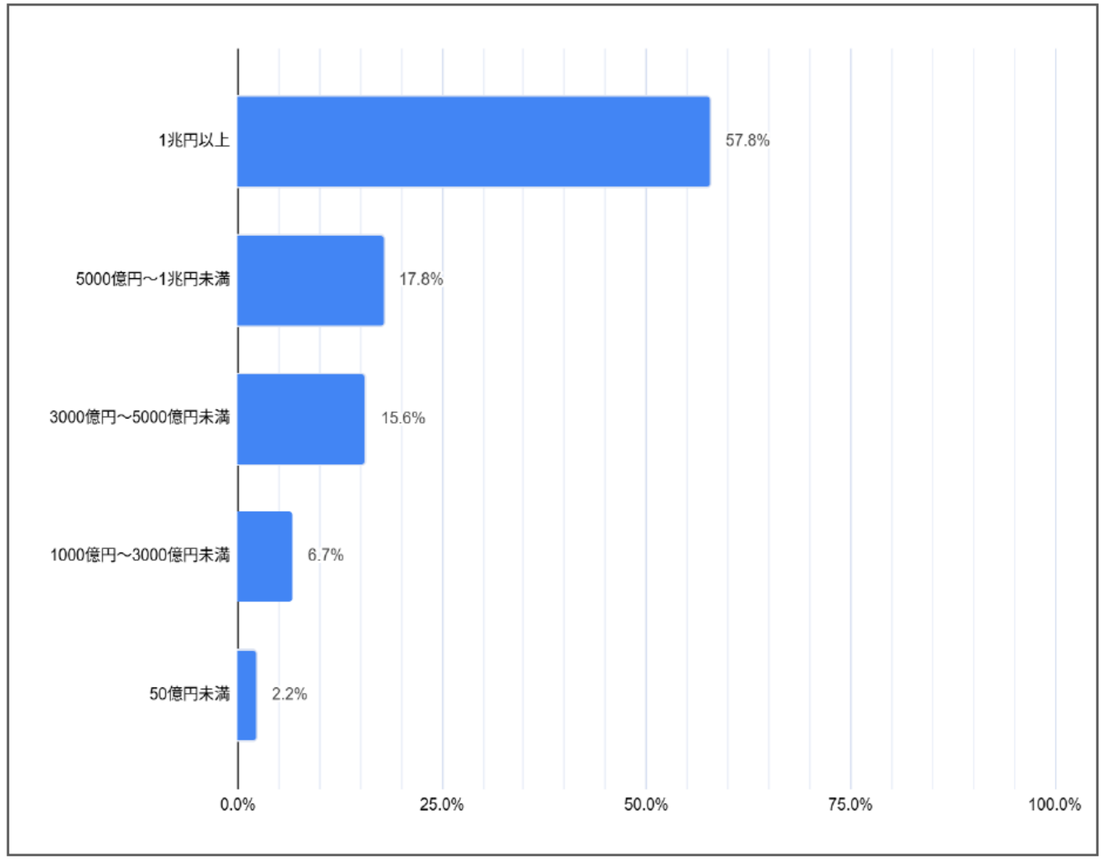
DIAMOND Quarterly

開催実績　創刊9周年記念フォーラム （登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォータリー創刊９周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか　150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【売上規模】



開催実績　創刊8周年記念フォーラム　LP：https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum8/?view=1

ダイヤモンドクォータリー 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

概要・タイムテーブル

日時	2025年2月17日（月）13:30～18:00
名称	ダイヤモンドクォータリー創刊8周年記念フォーラム
テーマ	乱世を生き抜くためのシン日本流経営 ～「ダイナミックな変革」と「独自の価値創造」で新たな成長ステージを切り拓く
主催	ダイヤモンド社 メディア局
企画	ダイヤモンドクォータリー編集部
協賛	Ridgelinez、ヤプリ、Wolters Kluwer CCH Tagetik
会場	大手町三井ホール
定員	会場200名＋ライブ配信400名
参加費	無料

13:30–	◇基調講演 トランプ再来で世界はどう変わるか。企業版「経済安全保障」の論点 鈴木一人 氏 東京大学公共政策大学院 教授 国際文化会館 地経学研究所長
14:15–	◇協賛講演 不確実性の時代を勝ち抜く サプライチェーンの強靭化 赤荻健仁 氏 Ridgelinez 上席執行役員Partner; Manufacturing, Engineering & Construction Practice Leader
14:45–	◇協賛講演 経営の想いと情報浸透がもたらす、 組織と従業員エンゲージメント最大化 古屋陽介 氏 ヤプリ 事業推進室 EXプロジェクトリーダー
15:15–	◇コーヒーブレイク（休憩）
15:30–	◇基調対談 強みを再編集し、成長ダイナミズムを取り戻す「シン日本流経営」 名和高司 氏 京都先端科学大学 教授 一橋ビジネススクール 客員教授 澤田 純 氏 日本電信電話（NTT） 取締役会長
16:20–	◇協賛講演 経営管理基盤が支えるシン日本流経営 ～データ活用による意思決定の革新～ 箕輪久美子 氏 Wolters Kluwer CCH Tagetik 日本代表／日本マネージングディレクター 久保誠一 氏 Wolters Kluwer CCH Tagetik ソリューション＆サービス事業本部 執行役員 本部長
16:50–	◇ラップアップセッション＆交流会



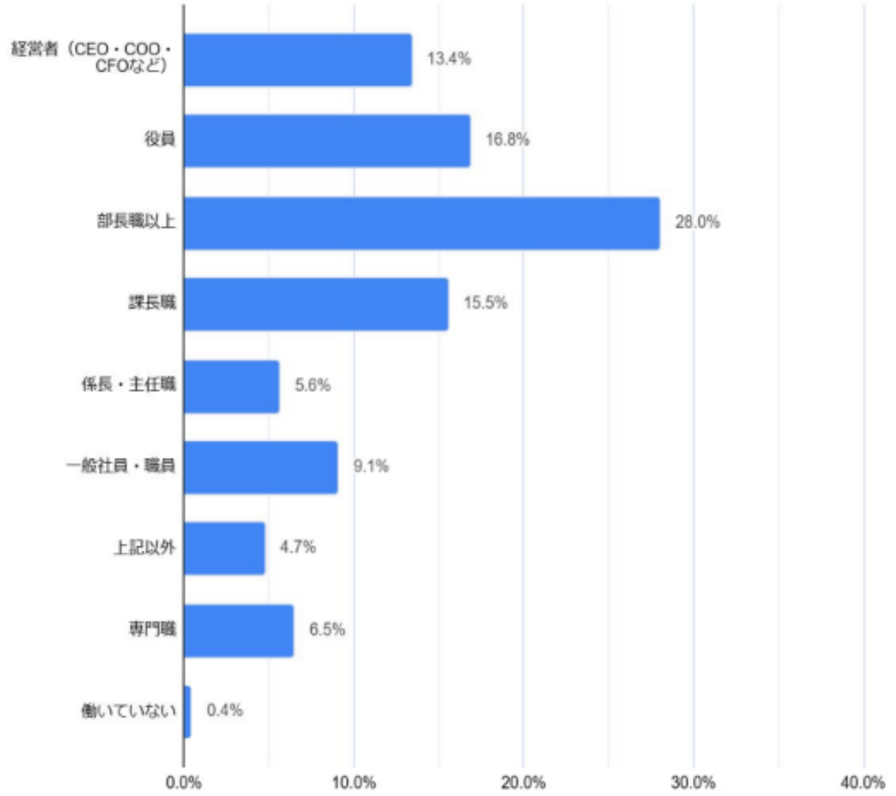
DIAMOND Quarterly

開催実績　創刊8周年記念フォーラム （登録者属性／リアル開催申込者）

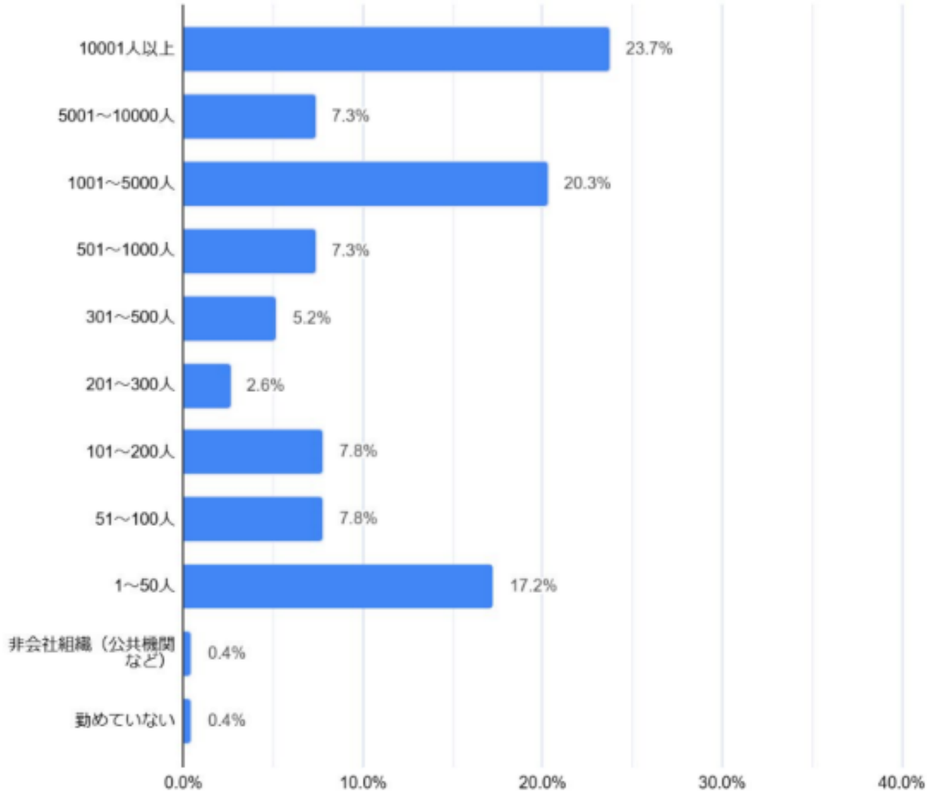
ダイヤモンドクォータリー 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：登録者属性

【役職】　N=232



【従業員数】　N=232



DIAMOND Quarterly

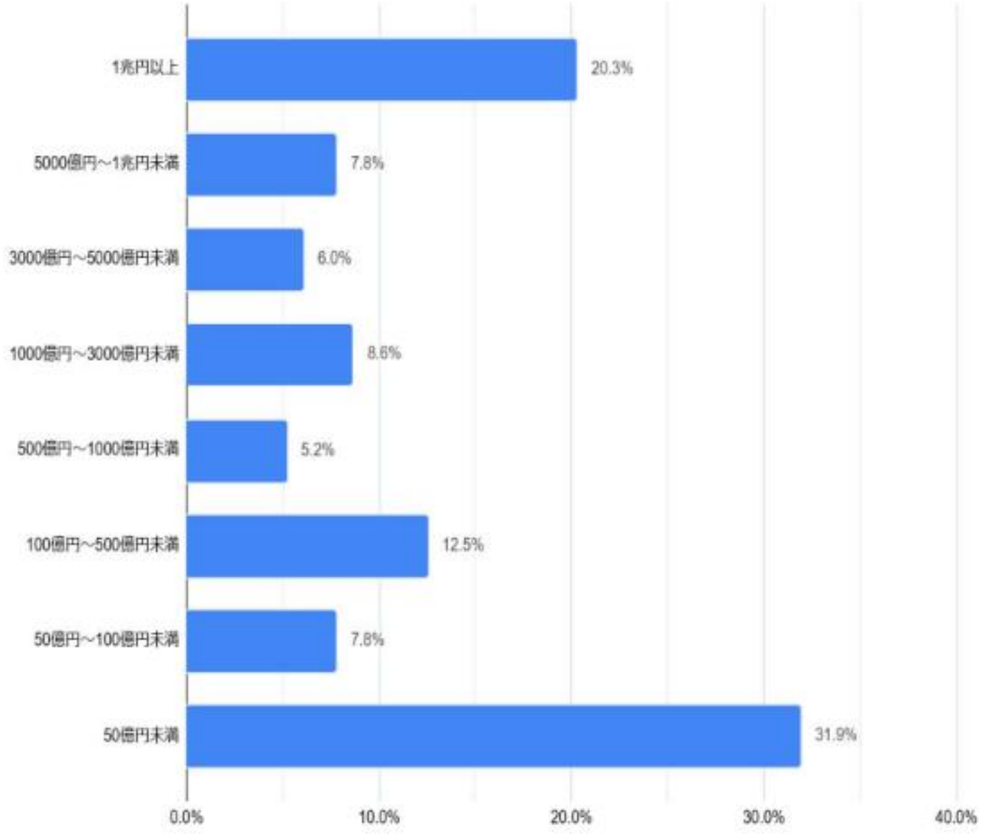
開催実績　創刊8周年記念フォーラム （登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォータリー 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：登録者属性

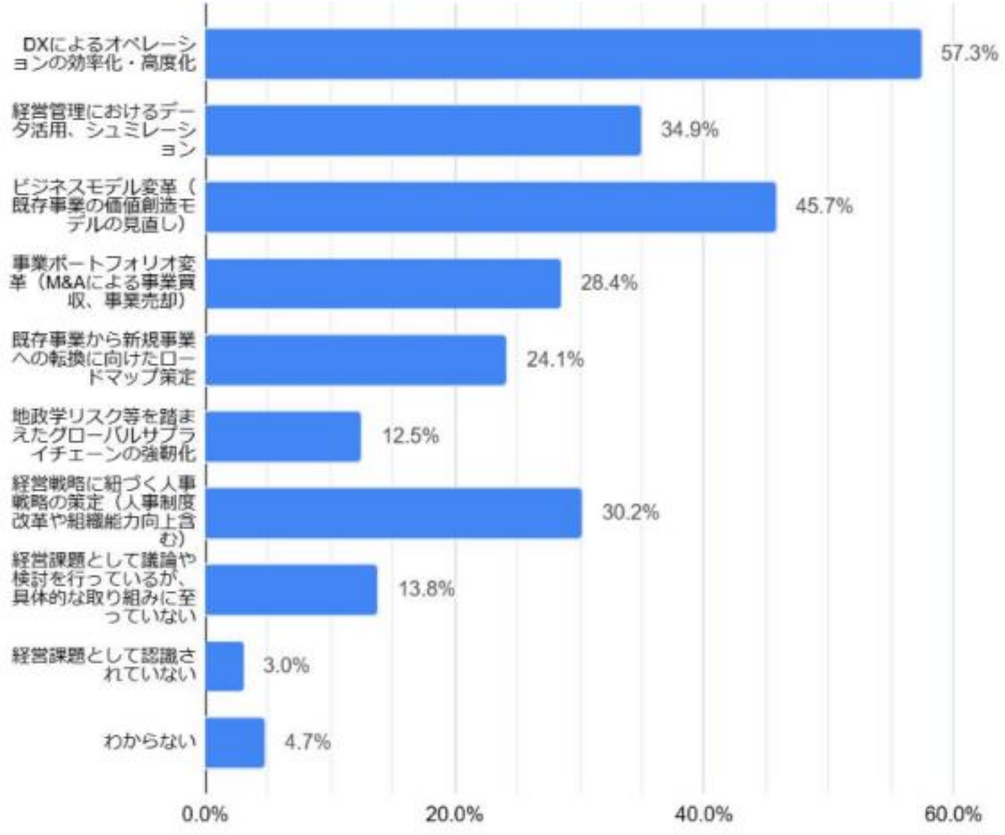
【売上規模】

N=232



あなたの会社では、どのような企業変革に取り組んでいますか
（複数選択可）

N=232



DIAMOND Quarterly

開催実績　創刊8周年記念フォーラム （登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォータリー 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：参加企業（※抜粋）

AGC
EYストラテジー・アンド・コンサルティング
IHI Aerospace
JX Metals Corporation
KPPグループホールディングス
NTTデータ
NTTドコモ
NVC
TMJ
TOPPANエッジ
アフラック生命保険
アルプスアルパイン
安藤・間
いちよし証券
インターネットイニシアティブ
エムティーアイ
オリックス
オリンパス
カトーレック
かんぽ生命保険
キヤノンマーケティングジャパン
キャムグローバル (キャムコムグループ)
キャムコム
キユーピー
共栄火災海上保険
コクヨ
佐鳥電機
サントリー食品インターナショナル
三和テッキ
ジェイテクト
ジェコス
新電元工業
住友不動産
スミリンフィルケア
セイコーソリューションズ
セコム
全国農業協同組合連合会
損害保険ジャパン
高砂熱学工業
千代田化工建設
千代田区役所
帝京平成大学
帝人
テクノプロ・ホールディングス
テプコシステムズ
テルモ
東海旅客鉄道
東急建設
東芝
東芝エネルギーシステムズ
東武運輸
トーヨーケム
豊通ケミプラス
日揮ホールディングス
日清食品ホールディングス
日清紡ブレーキ
日本化薬
日本経済新聞社
日本工業大学大学院
日本製紙パピリア
日本製鉄
日本ゼオン
日本電気
日本電信電話
パーソルダイバース
長谷工コーポレーション
パナソニックコネクト
パナソニックホールディングス
ピジョン
ピジョン・コンサルテイング
日立製作所
富士製薬工業
本田技術研究所
丸紅ロジスティクス
三井化学
三井住友海上プライマリー生命保険
三井物産
三菱重工業
三菱商事ロジスティクス
ミライト・ワン
明電舎
ヤマトシステム開発
ユニオンツール
ユニベール
吉野家ホールディングス
リクルート
立教大学
レゾナック
レンタルシステム

お問い合わせ先

【お問い合わせ先】

株式会社ダイヤモンド社
ブランディング事業局
DQ広告担当 宛
Email：web_ad@diamond.co.jp